

- 国連大学大学院生、歌舞伎鑑賞会へ
- JapanGivingで国連大学協力会を応援してください
- 第32回理事会・第18回評議員会開催
- 特集 国連大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティングユニット



国連大学大学院生 歌舞伎鑑賞会へ

小春穂沖津白波—小狐礼三—



音

の日本を垣間見たかのようで

す！と興奮冷めやらぬ様子の学生。
優雅な大名に、華やかでにぎやかな
吉原。江戸っ子の人情に夏の狐火。日
本の古典文化歌舞伎の世界観は、国や
文化を超えて学生たちの心に響いたよ
うです。

2016年1月某日、国連大学の学生や研
究者を毎年恒例の「歌舞伎鑑賞会」へ
招待しました。この日、新春歌舞伎公
演千秋楽であったため、お正月のお飾
りで彩られた国立劇場には着物姿の来
場者も多く、日本独特のお正月の雰
囲気につつまれ学生も顔をほころばせて
いました。

実はあまりなじみがなかった？

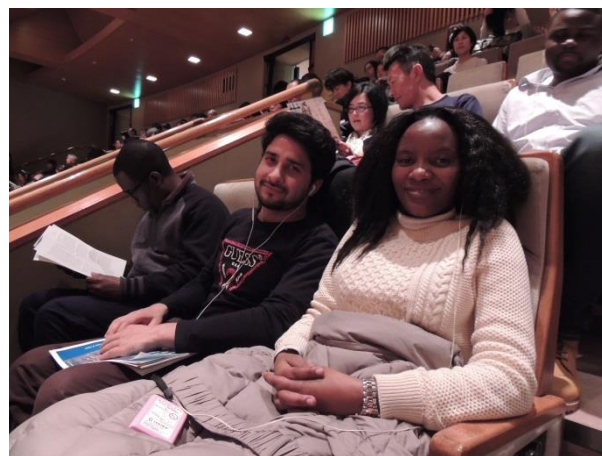
実際に歌舞伎を観るまでは「格式ばっ
たもので、少し退屈そう。」とややマイ
ナスなイメージを持つ学生が多く、
「禅」「仏教」「日本の歴史についての

劇」「退屈そう」さらには「ヨーロッパ
風の劇かとおもっていた」という声ま
で。日ごと勉学に勤しむ学生には、思
いのほか歌舞伎はあまりなじみがなか
った様子です。

意外にも KABUKI は面白かった！

今年の新春歌舞伎は、「小春穂沖津白波
小狐礼三」という河竹黙阿弥の代表作
でした。桜の舞う神社での大名家のや
り取り、雪が積もるうらさびしい小屋
で針を回す女。狐でも化けて出そうな
薄暗い山道と、日本昔ながらの風景に、
学生の一人は「タイムスリップしたよ
うだ」と、とても感動した様子。月夜
に照らされた野山が、銃声で一瞬で桜
吹雪の舞う春になる「雪月花のだんまり」
では大歓声が上がっていました。

稲荷社にずらりと並んだ鳥居の中や上
で繰り広げられた大詰め立ち回りには、
皆、身を乗り出して見入っていました。



お正月の雰囲気満載の国立劇場にて大興奮の学生たち。

した。舞台を広く使った大仕掛けの演出と、およそ歌
舞伎の常識を覆すようなアクロバティックな演出に、
「既存の考えにとらわれず、流行を取り入れ、人々を
楽しませる」という伝統芸能の粋な心意気に圧倒され
た一日でした。

JapanGiving で国連大学協力会を応援してください！



JapanGiving とはクラウドファンディングサイトという新しいチャ
リティーの形のサービスです。

国連大学協力会が行っているキャンペーンにご支援いただく方法があ
る他、皆様でチャレンジを行い、集めた寄付金で国連大学協力会の活
動を支援する、ということも可能です。

現在、9月に入学する学生の生活支援を募るキャンペーンを行って
います。目標額は学生一人の1年間の生活費 200 万円で、締切は9月1
日です。今後は歌舞伎鑑賞会や工場見学ツアーなど、様々なキャンペ
ーンを行ってまいりますので、是非温かいご支援をよろしくお願いいたします。

いますぐ検索！

ジャパンギビング 国連大学協力会

検索

国連大学協力会

第32回理事会・第18回評議員会 開催

3月17日(木) 国連大学本部ビル5階のエリザベス・ロ
ーズホール国際会議場にて、第32回理事会・第18回評議員
会が開催され、国連大学協力会の役員をはじめ、国連大学や
関係各省から関係者が集まり、活発に議論が行われました。
武内和彦上級副学長より挨拶があり、国連大学協力会の国連
大学への継続的な協力に対する感謝の意が述べられました。
国連大学の最近の動向としては、研究・教育面では平和と政
策にかかわる研究に重点を置くと共に、教育面では博士課程
の教育に力を注いでおり、昨年博士号を取得した修了生は現
在国際的な水準の研究、政策にかかわる活動を開始している
との報告がありました。また、事務局から2015年度国連大学
協力会の事業報告・決算報告が行われ、審議の結果異議なく
承認されました。

本法人への寄付は所得税・法人税の控除の対象となります。また、
個人の寄付についても税額控除制度の適用も認められております。
詳しくは事務局までお尋ねください。

—国連大学協力会—

TEL 03-5467-1368 FAX 03-5467-1349
www.jfunu.jp/ Email jf@unu.edu



特集

地域と世界をつなぐフィールドオフィス（第1回）

- いしかわ・かなざわオペレーティングユニット



白山ユネスコエコパークを視察に訪れたノエリン氏（ユネスコ MAB プログラムネットワーキングセクションチーフ）に、地域環境に関するクイズを出す平泉寺小学校の子供たち



国連大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわ
オペレーティングユニット（OUIK）

〒920-0962
石川県金沢市広坂 2-1-1
石川県政記念いのき迎賓館 3 階
TEL 076-224-2266 FAX 076-224-2271
<http://oui.k.uu.edu/>

見学は随時受け入れています。訪問をご希望の際は上記までお問い合わせください。

金沢に国連大学サステナビリティ高等研究所のフィールドオフィス「いしかわ・かなざわオペレーティングユニット（OUIK）」があるのはご存知ですか？今回の特集では 2 回にわたり、OUIK 永井三岐子事務局長に、その活動についてご紹介いただきます。

「いしかわ・かなざわオペレーティングユニット」とは

国連大学は世界中にある 13 の研究所からなる国連組織ですが、そのうちの一つ、サステナビリティ高等研究所のフィールドオフィスとして、石川県金沢市に「いしかわ・かなざわオペレーティングユニット」（OUIK）があることはあまり知られていません。

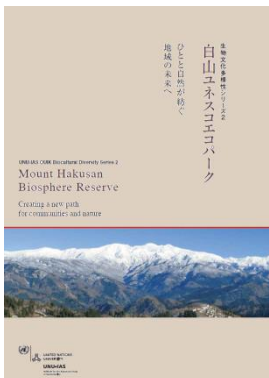
OUIK は 2008 年に石川県、金沢市そして国連大学によって、地域の声と国際社会を直接結ぶ先駆的なユニットとして設立されました。以来、研究活動と国連大学の国際ネットワークを活かし、石川の里山里海の国際的な認知度向上に大きな役割を果たしてきました。石川県の能登半島は、FAO により世界農業遺産に認定された伝統的な農文化や暮らしが今も営まれています。そして金沢市はユネスコ創造都市ネットワーク、クラフト部門のメンバーであり、文化創造による地域づくりを目指しています。また同県南部に広がる白山はユネスコエコパーク（Man and Biosphere Program）に認定されています。

OUIK は 上記のような国際的な地域認証制度をツールとして用いながら、基礎自治体、地域の研究機関、NGOs そして住民の方々とともに、石川の生物文化多様性の保全に関する協働研究、政策提言、人材育成、国際的な議論への

貢献を通じ、日本の地域から発信する持続可能な地域モデルの構築を目指しています。

白山ユネスコエコパークをプラットフォームとする学びのツール —世界と地域がともに考える持続可能な地域づくり—

地域との協働の一例をご紹介します。石川県南部に広がる白山ユネスコエコパークは、2016 年 3 月に開催されたユネスコエコパーク世界大会に於いて、地域が持続可能な生業を営む「移行地域」を新たに含めた拡張登録申請が承認されました。この拡張登録承認を記念して、OUIK では白山エコパークの生物文化多様性と その意義をまとめた冊子を発行しました。白山エコパークに関わる自治体、保全活動を行う地域団体、教育関係者、研究者らに加え、ユネスコ本部よりエコパークネットワークセクションチーフも寄稿し、それぞれの立場からユネスコエコパークをプラットフォームとする持続可能な



—学びの冊子—
白山ユネスコエコパーク—人と自然が紡ぐ地域の未来—

地域づくりを論じています。この冊子のとりまとめや原稿執筆が当事者達の学びであり、発行された冊子はエコパーク対象地域の学校、図書館に配布され地域の環境教育活動に利用されています。また、日英で発行されたこの冊子は、アジア地域のユネスコエコパーク実務者とのワークショップにも研修教材として活用されます。このように学びのツールから様々な活動が生まれています。OUIK は地域と世界を結びながら、学びあいのプラットフォームを推進していく上で、さらに多様な関係者に参画していただきたいと考えています。



2015 年 10 月に UN70 周年キャンペーンに参加し UN カラーにライトアップされた金沢城

今回の特集では、OUIK の人材育成活動について詳しくご紹介いたします。お楽しみに！

国連大学サステナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット 事務局長 永井三岐子

上智大学仏語学科卒業。政策研究大学院大学修士（国際開発）。JICA モンゴル事務所、国連大学グローバル環境情報センター、JICA-JST プロジェクトコーディネーター（タイ）を経て、2014 年より国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニットにて研究と政策の統合を軸にマネジメントに携わる。金沢市出身。

—発行元—

公益財団法人国連大学協力会

TEL 03-5467-1368 FAX 03-5467-1349

Email jf@unu.edu www.jfunu.jp/

jfUNU ホームページでは
国連大学のホットな情報
を随時アップしています

